

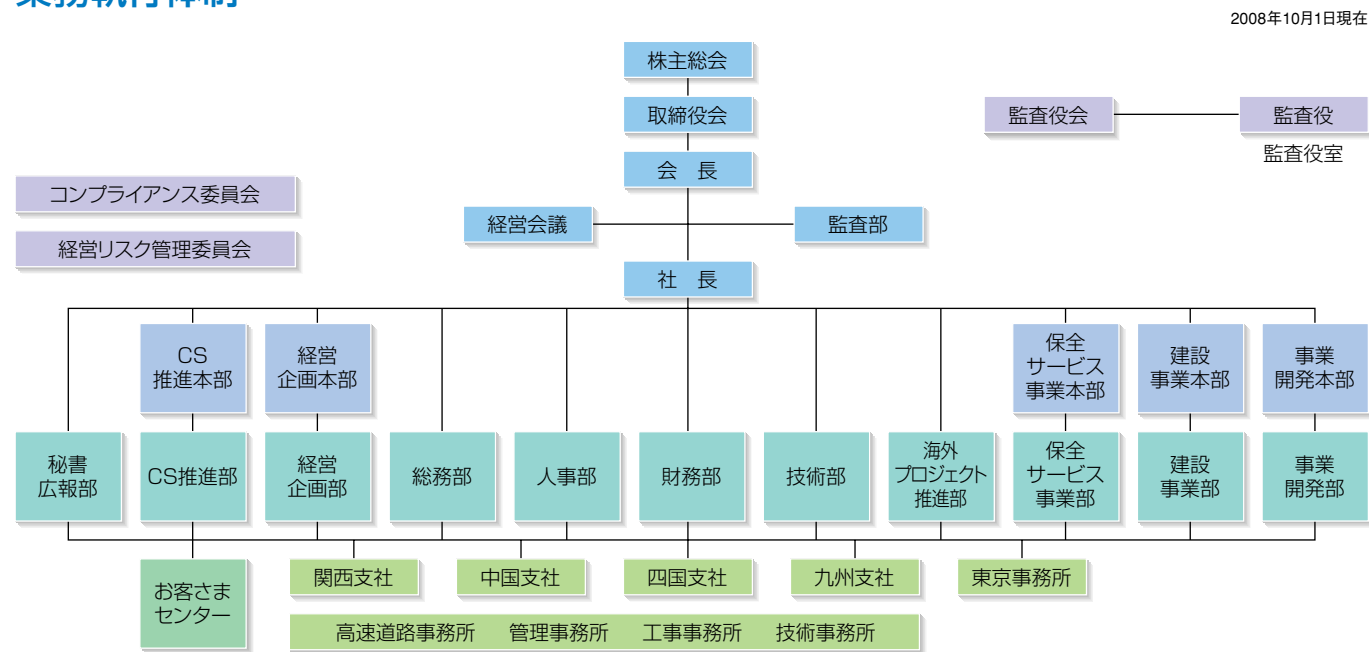
NEXCO西日本グループの概要

西日本高速道路株式会社 (NEXCO西日本) は2005年10月1日、旧日本道路公団 (JH) の分割・民営化に伴って誕生しました。民営化から3年、専門部門を担う子会社を含めたグループとして、民営化の目的を確実に達成するための体制を構築し、経営の根幹にCSRをすえて、日夜事業活動を推進しています。

組織概要

- ◆ 商号 西日本高速道路株式会社
(West Nippon Expressway Company Limited)
- ◆ 従業員数 2,568名 (2008年3月末現在)
- ◆ 本社所在地 大阪市北区堂島1丁目6番20号
- ◆ 代表者 代表取締役会長CEO 石田 孝
代表取締役社長COO 奥田 植彦
- ◆ 資本金 475億円
- ◆ 設立年月日 2005年10月1日

業務執行体制



NEXCO西日本グループ企業

◆ 連結子会社 18社

料金収受サービス

- 西日本高速道路サービス関西株式会社
- 西日本高速道路サービス中国株式会社
- 西日本高速道路サービス四国株式会社 (*パトロールも実施)
- 西日本高速道路サービス九州株式会社
- 西日本高速道路総合サービス沖縄株式会社 (*パトロール、エンジニアリング、メンテナンスも実施)

パトロール

- 西日本高速道路パトロール関西株式会社
- 西日本高速道路パトロール九州株式会社

エンジニアリング

- 西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社
- 西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社
- 西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社 (*メンテナンスも実施)
- 西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社
- 西日本高速道路ファシリティーズ株式会社 (*メンテナンスも実施)

メンテナンス

- 西日本高速道路メンテナンス関西株式会社
- 西日本高速道路メンテナンス中国株式会社
- 西日本高速道路メンテナンス九州株式会社

ビジネスサポート業務

- 西日本高速道路ビジネスサポート株式会社

サービスエリアの運営

- 西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社
- 西日本高速道路ロジスティックス株式会社

◆ 持分法適用関連会社 5社

料金収受機械保守

- ハイウェイ・トール・システム株式会社

研究および技術開発

- 株式会社高速道路総合技術研究所

システムの開発・改良および運用管理

- 株式会社NEXCOシステムズ

保険代理店業務

- 株式会社NEXCO保険サービス

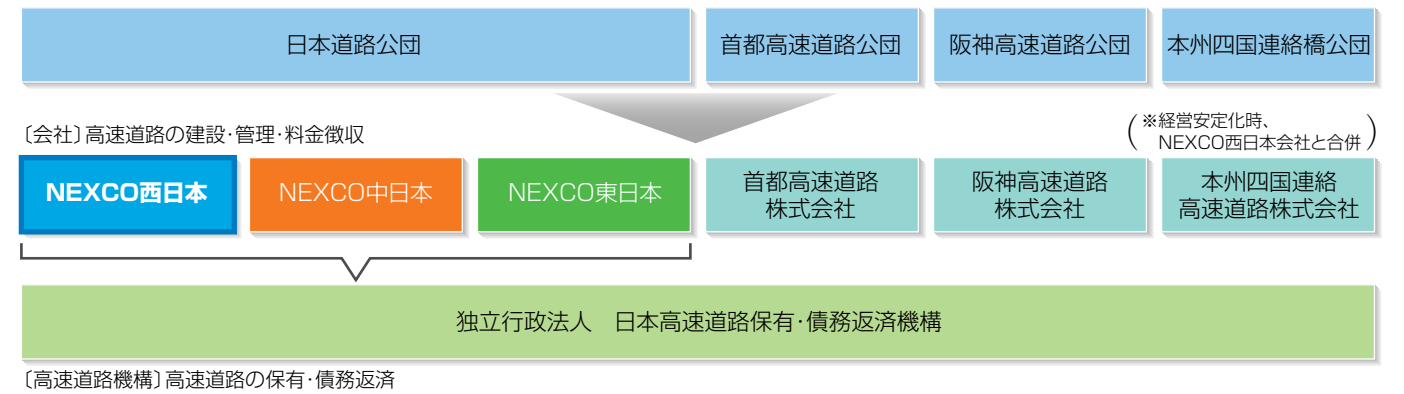
トラックターミナルの運営

- 九州高速道路ターミナル株式会社

民営化の概要

NEXCO西日本は、右の3つを目的とする旧道路関係4公団民営化において、旧日本道路公団 (JH) の3分割により2005年10月1日に設立されました。

なお、道路関係4公団は下図のとおり、高速道路資産を保有し、その債務の返済を実施する独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構 (以下、高速道路機構) から、高速道路資産を借り受け、運営管理を実施する6会社に分割されています。



民営化の目的

- ① 旧道路関係4公団合計で、約40兆円にのぼる有利子債務を確実に返済すること。
- ② 必要な道路を、会社の自主性を尊重しつつ、早期に、できるだけ少ない国民負担のもとで建設すること。
- ③ 民間企業のノウハウを発揮し、多様で弾力的な料金設定を実現し、お客さまに多様なサービスを提供すること。

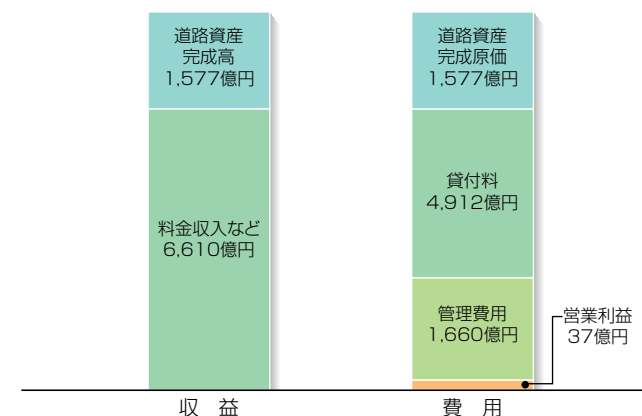
財務状況

道路事業とサービスエリア・パーキングエリア (SA・PA)、その他の事業に会計を区分しています。2007年度は、道路事業において、料金収入などからあらかじめ定められた高速道路機構への貸付料や必要な管理費用を支出し、営業利益は37億円でした。

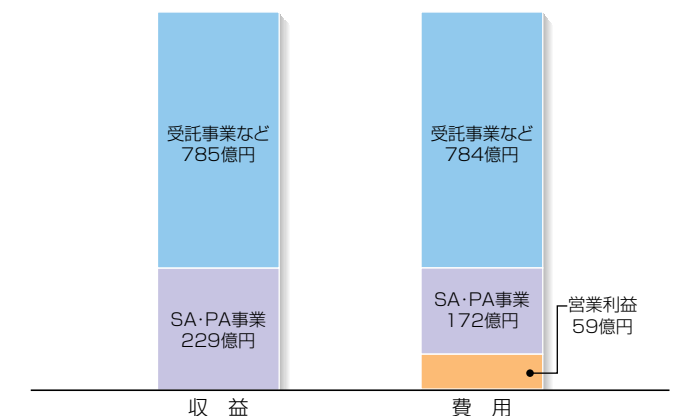
SA・PA、その他の事業においてはSA・PAでの営業、駐車場事業のほか、国からの受託事業などがあり、営業利益は59億円、全体では営業利益が96億円、当期純利益は76億円でした。

2007年度連結損益計算書

道路事業



SA・PA、その他の事業



事業概要

道路事業

道路事業については、NEXCO西日本と高速道路機構の間で締結している協定に基づき実施しています。

当社 道路事業(建設): 道路の建設、高速道路機構への道路資産・債務の引渡しを行う
道路事業(保全サービス): 高速道路機構から借り受けた道路資産の管理・運営を実施し、道路通行料金収入から高速道路機構への貸付料の支払いを行う

高速道路機構 道路資産を保有、高速道路会社に貸付けを行い、高速道路会社から受け取る貸付料により、道路資産に係る債務の返済を行う

建設事業

地域の発展と暮らしの向上に貢献するため、信頼性の高い高速道路ネットワークを計画的かつ着実に構築します。高速道路を一からつくる際には、まず建設の実施に必要な各種測量や調査・設計を実施します。その後、地元関係者や関係企業、自治体と協議の上で必要な用地を取得し、地域の発展に貢献できる安全・快適な高速道路を建設しています。



建設延長: 228km (2008年7月現在)
(当面、着工しない区間35kmを含みません)

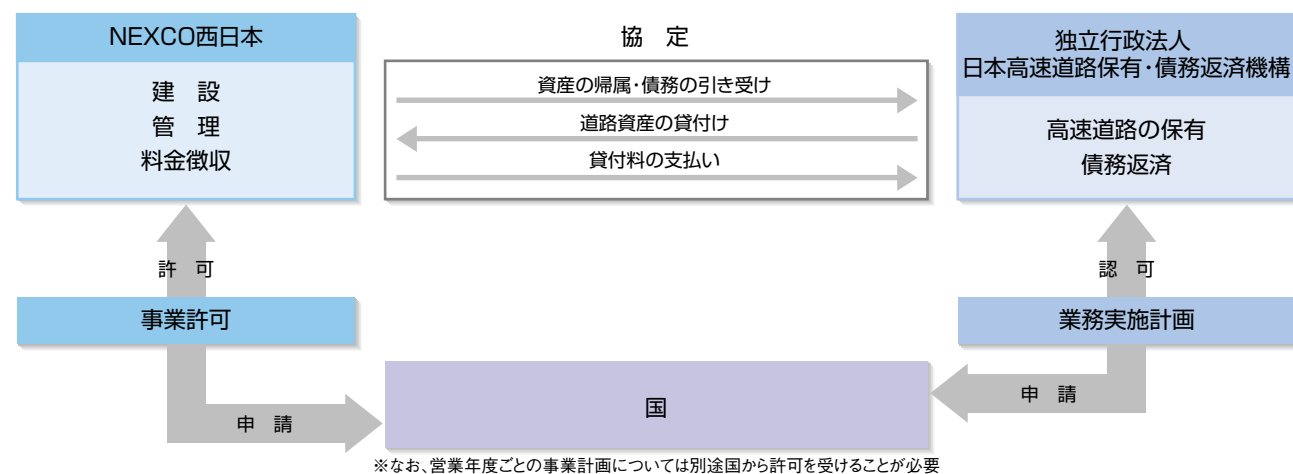
保全サービス事業

いつもお客さまに安全・安心と快適を実感していただけるように、24時間体制で道路の情報を収集し、道路・施設設備の点検および調査、清掃、植栽作業、補修、冬期の雪氷作業、橋梁塗装などの維持管理や交通安全対策、防災対策、道路情報の提供を実施しています。また、ライフサイクルコストの最小化が求められる中、老朽化に対応した効率的・効果的な道路管理に取り組んでいます。



営業延長: 3,306km (2008年7月現在)
利用台数: 236万台/日 (2007年度実績)

道路事業の民営化後のスキーム



SA・PA、その他の事業

サービスエリア・パーキングエリア(SA・PA)の運営や不動産賃貸業などの新規事業(国土交通大臣への届出が必要)については、NEXCO西日本の経営責任のもとで展開しています。

SA・PA事業

SA・PAの資産は、民営化に伴いNEXCO西日本が承継しました。こうした高速道路という資源を生かして、お客さまに便利さと新たな満足をお届けするのがこの部門の目的です。特に、SA・PAの多様化、サービス向上については力を入れており、お客さまに安らぎ、美しさ、くつろぎを提供し、お客さま満足度の向上を目指しています。



休憩施設数: SA98カ所・PA191カ所
(2008年7月現在/上下線別/非承継・第三セクター運営分込み)

※第三セクター運営エリア
地方公共団体(第一セクター)と民間企業(第二セクター)の共同出資で設立される事業体により運営を行っているサービスエリア・パーキングエリアを示す。

その他の事業

トラックターミナル事業、駐車場事業、占用施設(高架下)活用事業、不動産賃貸事業、広告事業などを展開しています。また、これまで蓄積してきた道路の建設・保全に関する技術力の有効活用を目指して、道路事業への技術支援ほか海外事業活動の取り組みを始めています。



トラックターミナル: 2カ所、駐車場事業: 1カ所
占用施設(高架下)活用事業: 280カ所ほか (2008年7月現在)

SA・PA事業の民営化後のスキーム

NEXCO西日本が保有するSA・PA資産(土地・建物)について、100%出資の子会社であるNEXCO西日本サービス・ホールディングス(SHD)に貸付けを行い、その賃料から高速道路機構に連結料の支払いを実施しています。

